



2025年12月9日
三井住友DSアセットマネジメント
チーフマーケットストラテジスト 市川 雅浩

市川レポート

2026年FOMCメンバーの金融政策スタンス

- 金融政策を議論し決定するFOMCでは、7名の理事と5名の地区連銀総裁が投票権を保有する。
- 2026年に投票権を持つ理事と地区連銀総裁の計12名のうちハト派3名、中立7名、タカ派2名。
- パウエル議長の任期満了などでハト派の増加が見込まれるも全体では依然バランスの取れた陣容。

金融政策を議論し決定するFOMCでは、7名の理事と5名の地区連銀総裁が投票権を保有する

米国の連邦準備制度（The Federal Reserve System）は、1913年の連邦準備法によって設立された中央銀行制度です。その最高意思決定機関が、ワシントンにある連邦準備制度理事会（The Board of Governors of the Federal Reserve System）で、一般的にFRB（The Federal Reserve Board）という略称で呼ばれています。FRBは連邦政府の1機関であり、7名の理事（うち議長1名、副議長1名、金融監督担当副議長1名）で構成されています。

FRBは、その下に12の地区連邦準備銀行（地区連銀）を抱え、業務に関する広範な監督権限を付与されています。なお、金融政策の決定に関する議論は、連邦公開市場委員会（FOMC）で行われ、7名の理事と5名の地区連銀総裁が投票権を持ちます。理事とニューヨーク地区連銀総裁は、常に投票権を持つ常任メンバーですが、4名の地区連銀総裁は、輪番制により1年の任期となります。

【図表1：FOMCメンバーの金融政策スタンス】

区分	メンバー	役職	ハト派	中立	タカ派
常任メンバー	パウエル	議長			
	ジェファソン	副議長			
	ボウマン	理事(金融監督担当副議長)			
	バー	理事			
	ウォラー	理事			
	クック	理事			
	ミラン	理事			
	ウィリアムズ	ニューヨーク地区連銀総裁			
メンバー	ハマック	クリーブランド地区連銀総裁			
	ボールソン	フィラデルフィア地区連銀総裁			
	ローガン	ダラス地区連銀総裁			
	カシュカリ	ミネアポリス地区連銀総裁			

(注) 2026年のFOMCで投票権を持つメンバー。スタンスの区分は三井住友DSアセットマネジメントによる。パウエル議長は2026年5月の任期満了後、理事として2028年1月までFRBにとどまることが制度上可能。

(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：その他FOMCメンバーの金融政策スタンス】

区分	メンバー	役職	ハト派	中立	タカ派
代替メンバー	グールズビー	シカゴ地区連銀総裁			
	バーキン	リッチモンド地区連銀総裁			
	ボスティック	アトランタ地区連銀総裁			
	デイリー	サンフランシスコ地区連銀総裁			
その他メンバー	コリンズ	ボストン地区連銀総裁			
	ムサレム	セントルイス地区連銀総裁			
	シュミット	カンザスシティ地区連銀総裁			

(注) 2026年のFOMCで投票権を持たないメンバー。スタンスの区分は三井住友DSアセットマネジメントによる。アトランタ地区連銀のボスティック総裁は2026年2月に退任予定。

(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成



2026年に投票権を持つ理事と地区連銀総裁の計12名のうちハト派3名、中立7名、タカ派2名

つまり、投票権を持つ5名の地区連銀総裁のうち、ニューヨーク地区連銀総裁を除いて、4名が毎年入れ替わることになります。2026年は、クリーブランド、フィラデルフィア、ダラス、ミネアポリスの各地区連銀総裁が新たに投票権を持つメンバーとなります。なお、2026年のFOMCで投票権を持つメンバーの金融政策スタンスについて、ハト派（景気重視）、中立、タカ派（物価重視）の3つに区分したものが図表1です。

弊社は7名の理事のうち、ボウマン理事、ウォラー理事、ミラン理事の3名はハト派、パウエル議長など残り4名は中立とみています。また、5名の地区連銀総裁については、ニューヨーク地区連銀のウィリアムズ総裁、フィラデルフィア地区連銀のポールソン総裁、ミネアポリス地区連銀のカシュカリ総裁の3名が中立、クリーブランド地区連銀のハマック総裁、ダラス地区連銀のローガン総裁の2名がタカ派と考えます。

パウエル議長の任期満了などでハト派の増加が見込まれるも全体では依然バランスの取れた陣容

なお、2026年のFOMCで投票権を持つ12名のメンバーに加え、投票権を持たない残り7名のメンバー（図表2）についても、金融政策のスタンスは3、6、9、12月のFOMCで公表される「政策金利水準の分布図（ドットチャート）」に反映されます。さて、2026年は、1月にミラン理事の任期が満了し、2月には5年に1度のFRB理事による地区連銀総裁の任期更新の承認採決が行われ、5月にはパウエル議長の任期が満了します。

次期議長の最有力候補として、米国家経済会議（NEC）のケビン・ハセット委員長の名前が報じられており、ミラン理事の後任もハト派寄りの人物の就任が予想されます。ただ、地区連銀総裁の任期は、理事の過半数の承認で更新される見通しです。ミラン理事とパウエル議長の後任がハト派の場合、2026年のFOMCで投票権を持つ12名のうち4名がハト派になりますが、FOMC全体としては、依然バランスの取れた陣容と判断されます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

